



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.25

# たちばな

2015.4.1

## ◆ 発行／立正大学校友会 ◆

- P.02 13万人の「立正人」のネットワーク構築をめざして
- P.04 平成27年度校友会事業計画
- P.06 立正大学生涯メール始めました
- P.08 卒業生向けOffice365操作手順書
- P.10 同窓会開催・活動報告
- P.11 立正大学同窓会定期総会のご案内
- P.12 短大・保育／郵政会
- P.13 橘会
- P.14 保護者懇談会開催日程(案)
- P.15 INFORMATION



# 13万人の「立正人」の ネットワーク構築をめざして

校友会担当副学長 高橋 堯英

## 「オール立正」の精神のもとに

一昨年、山崎和海学長の第2期目の任期を補佐すべく、学生・校友会担当副学長と施設担当常任理事を私が拝命してから、2年が経ちました。この間、様々な事業に関わらせていただきましたが、立正大学附属中学校高等学校の馬込キャンパス移転に伴う、中・高の校舎を大学仕様に改修する工事とその付随工事で多くを学ばせて戴きました。

毎週木曜日に行われた建設会社との定例打ち合わせに出席し、進捗状況を役員会に適時に報告したり、当初の予算に含まれていなかった8・9号館の電源工事や9号館教室内 AV 設備、8号館外壁工事や古書資料館工事等々、必要不可欠と一緒に工事を進めなければならない事案に関して、その必要性を役員会で説明させて戴き、改めてご審議戴いたりして、慌しく時間が過ぎてゆきました。更には、学内に学生諸君が集い情報交換できる場所を増やすため、旧中高運動場をベンチや植栽を設けた「学生広場」に整備する事業や、6号館の食堂からあふれた学生を吸収し、品川キャンパスで学ぶ学生数増に対応するため、300名以上が一時に食事できる第2食堂を整備する事業も浮上し、その都度、役員の方々に慎重審議戴き、厳しくも暖かいご意見を頂戴しながら改修の方向性を確認いただき、その実現のために実行部隊とともに会議を繰り返しました。

既に、「たちばな」の昨年4月1日号にて改修工事について報告しておりますが、改修工事が完了した時、非常に誇らしく思えました。特に、平成26年7月に第2食堂が完成し、完成報告のミニ・レセプションを開かせていただいた折、大変嬉しく思えたことが幾つかあります。それは、一連の工事完成のために、営業・設計・工事施行・空調・電機等々、工事を委嘱した建築会社の様々なセクションの方々が互いに智慧を出し合い最善の対策を採るために真剣に作業にあたってくれたことが一つでした。



もう1つ嬉しく思ったことは、管財部の職員が、学内の様々な部署から頂戴した意見や希望を代弁し、定例会で設計部にそれら意見をぶっつけ、何度も最善の施工法を考えさせ、みんなの意見を反映した適切な工事を限られたコスト内にて実施できるように努めてくれたことであります。

更に、学事・学生部、学術情報センター等々、学内さまざま部署から寄せられた意見の多くは、自分たちの「使い勝手」を優先させたものというより、それら提言・意見

の背景には、「今いる立正大生に、最善のアメニティー空間を確保し提供してやろう」「この際、出来る限りの学修環境改善を図ってやろう」「教育の質的転換という問題に、少しでも応えることが出来るようにしたい」という、我が学生に対する「慈愛」からの提言であったことも嬉しい事実でした。数多くの職員が、それぞれの立場から意見を出し、それらを管財部の職員が汲み取り、定められた予算的な枠の中で如何に反映出来るかを真剣に話しあった結果が、完成した一連の改修工事であったのです。

更に、政策広報課は定期的に工事の進捗状況を学内に発信してくれ、総務課の担当者は食堂業者の選定や折衝の資料集めに他大学に試食にまで行ってくれ、経理部は予算執行上の様々な局面で管財の相談にのってくれ、プロジェクトを支えてくれました。校友会誌に「オール立正」という言葉を山崎学長はしばしば用いられますが、私が携わらせていただいたこの一連の改修工事は、将にその「オール立正」の精神の下に職員の皆さんが一丸となって成し遂げた事業でありました。それ故、完成した折に誇らしさを感じたのであります。

### 校友会活動の使命とは

真理を探究し、人類社会の和平実現を念願する「立正精神」に立脚する教育によって育まれた学生を社会に排出することが本学の使命ならば、校友会活動は、同窓会、短期大学部・保育専門学校同窓会、橘会、郵政会という加盟団体に於ける活動を通じ、様々な形で人類社会に貢献し活躍している校友が、現役学生の父母の会とも連携を図りながら、互いに親睦を深め、心を一にして後輩の学修支援を支えていく活動であります。

法華経には、娑婆世界へ法華経の教えをひろめることを、釈尊を取り囲んでいた菩薩たちが仏に申し出たとき、仏は大地より数え切れない数の菩薩たちを出現させ、娑婆世界への法華経の教えの弘通は永遠の命を有する仏が嘗て教導したこれら「地踊の菩薩」たちが任にあたっているの心配無用である、と告げる場面があります。

実際の社会のいろんな分野で立正精神を体現している「立正人」が数多くいらっしゃいます。校友会活動の目的の1つには、そのような「立正人」を掘り出し、そのネットワークを構築していくこともあると思います。本学の卒業生は13万人程いるということですが、実際私どもで把握している同窓の皆様の数は8万人弱であるとの事。様々な世界で活躍している「立正人」のネットワークを構築することが急務であります。社会で忙しく働く中で、自らの

仕事に没頭することを余儀なくされ、一時的に大学との絆が疎遠になっているような数多くの「立正人」との関係性を再構築し、絆を深めていく努力を重ねることによって、本学の建学の精神によって結び付けられた無数の同士が互いに支え合う組織体を結成することを目指すことも、校友会活動の1つであると思います。

### 校友会実現のために

具体的に立正大学校友会はその実現のために、何をしてきたかと申しますと、山崎学長のリーダーシップの下、学術情報センターとコラボして「生涯メール」導入の準備を行ないました。平成26年度の卒業生から、今後、一生使えるメールアドレスを差し上げました。

更に、同窓の皆様にも、順次、メールアドレスを差し上げてまいります。立正大学の教育・研究、公開講座などに関する情報や、ホームカミングデーの実施に関する情報、総会の案内など、今後はこのメールシステムをフル活用し、皆様とのリンクを強めるべく情報発信していく所存です。

教育の分野では、昨年度から経済学部・経営学部・法学部で専門科目の一部に相互履修制度の導入が行われ、更に、文学部と仏教学部間にも同様な相互履修制度導入が新年度から実施されます。このように、学部間の垣根を少し下げ、共同して新たな成果を生み出そうとする試みも進んでいます。地球環境科学部地理学科の取り組みが文部科学省の「教育再生加速プログラム」(通称 AP) に選ばれ、学生が自ら積極的に考えて学ぶアクティブ・ラーニングの試みを、全学的なプロジェクトに広げていくことも今後進められてゆきます。学部ごとの縦割りであった教育も少しずつ、各学部の特異な点は特異な点として残しながらも、学部間コラボにより新たな価値観を創造していこうという「オール立正」の試みが徐々に進んでいます。

上述のように職員の皆さんに関しては、それぞれの職責から「オール立正」実現を常に念頭においてくれています。校友会においては、加盟団体相互のコラボも進み、同窓会の支部総会と橘会の地区説明会の共同開催が進められるなど、「オール立正」実現に願うご尽力いただいております。

しかしながら、校友会の更なる発展を期待すべく、社会で活躍する「立正人」のネットワーク構築に、更なるご支援、ご指導を賜りたく、お願い申し上げる次第です。13万人余の「立正人」のネットワーク構築を目指して……。



平成27年度

## 校友会事業計画

平成26年12月17日開催の校友委員会で承認されました。(平成26年度事業報告・決算報告書、平成27年度収支内訳予算書は7月号に記載いたします)

### 【平成27年度事業の取り組み】

平成27年度は校友会開設第2期(平成25年度～平成28年度)3年目となり、昨年度に引続き同窓会支部と橘会との連携による地方での保護者懇談会・同窓会支部総会・卒業生の講演会の同時開催ならびに、「校友の集い」を品川キャンパスで学園祭と同時開催によるホームカミングデーの実施、校友会特別助成制度の導入により、活躍する課外活動団体等への援助をはじめ、成績優秀者への顕彰、校友会奨励賞の授与などを含め「絆、そして未来へ」のキーワード(平成22年度より使用)のもとに「校友の絆の強化と発展」を趣旨として会員や関連団体、他私大などへの浸透を図るとともに在学生会員をはじめ卒業生会員へのサービス提供として業務を予定。

### 【会員構成と構成団体】

- (1) 会員構成：学部・大学院在籍生、学部・大学院卒業生、短期大学部・保育専門学校卒業生、在学生の父母、現元教職員
- (2) 構成団体：大学同窓会、短期大学部・保育専門学校同窓会、橘会、郵政会

### 【事業および支出】

#### ① 立正大学生涯メール維持管理

校友会会員(在学生、大学・短大専卒卒業生)に向けた大学との絆を強め、既に卒業された同窓生を含めて遡及することにより、導入後以降は、大学からのダイレクトにメール等で情報発信を行い、新たな校友活動に役立てる。

#### ② 校友会ホームページ維持管理

校友会会員(卒業生・在学生・在学生の父母・現元教職員)に向けた広報活動に活用する為、校友会ホームページレンタルサーバーの導入を行った。

#### ③ 会員向け広報告知

校友会会員(卒業生・在学生・在学生の父母・現元教職員)、他大学等関係機関用として校友会報を作成・発送し、又、平成27年度より生涯メール登録者の方には、メールにて情報発信し、校友会会員と校友会構成団体に対する本学校友会情報の提供と広報告知を行う。

#### ④ 校友会リーフレットの作成・配布

校友会会員(卒業生・在学生・在学生の父母・現元教職員)、構成団体、他大学等関係機関に対する広報告知用として「校友会ご案内」リーフレットを作成・配布。

#### ⑤ 校友会費B

卒業生、現元教職員に向け、校友会の活動費として、校友会費Bの納入をお願い。会費の使途を明確に伝え、会費納入の向上を目指します。平成27年度の校友会費Bのご案内は7月を予定しております。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### ⑥ 在学生支援(校友会在学生還元事業 平成27年度新規事業 以外は平成21年度より大学同窓会との名義協働連携事業)

平成21年度当初計画に基づき、在学生会費の在学生還元率40%～50%を目途に下記の事業を実施。

- ◆ 立正大学校友会奨学金：1期・2期募集を行い各20万円、1期・2期併せて募集枠は57名
- ◆ 課外活動助成
- ◆ 学園祭・体育祭助成
- ◆ 成績優秀者表彰(平成27年度新規事業)
- ◆ 課外活動奨励支援事業助成
- ◆ 海外でのインターンシップならびにボランティア活動奨学金。(平成27年度新規事業)
- ◆ 入学記念品・卒業記念品の贈呈

#### ⑦ 校友の集いの開催

平成21年度の校友会開設を契機とした校友会・構成団体共通オリジナルワードの「絆、そして未来へ。」を継承して開催。大学・学園、校友会、大学同窓会、短期大学部・保育専門学校同窓会、橘会、郵政会や関係諸団体との協働連携で開催平成27年度立正大学校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭 開催、立正大学同窓会定期総会講演会開催、立正大学同窓会支部総会での講演会開催。

平成27年度の校友の集いは、品川キャンパスにて「ホームカミングデー in 橘花祭」として、品川キャンパス橘花祭の時期に開催予定。

#### ⑧ 構成団体助成

校友会の構成団体である大学同窓会、短期大学部・保育専門学校同窓会、橘会、郵政会へ運営費の助成を行う。

#### ⑨ 校友会10周年記念事業費

平成21年度の校友会開設を契機とした校友会・構成団体共通オリジナルワード「絆、そして未来へ。」を継承して10周年記念事業を平成30年度開催予定。

## ～校友会から卒業生へ お祝いとして記念品を贈呈～

平成26年度の校友会在学生支援事業として、卒業生の方へ卒業証書フォルダーと実印サイズの黒水牛の印鑑(校章刻印入)一式を贈呈しました。



# 立正大学校友会会則

## 第1章 総則

### (名称)

#### 第1条

本会を立正大学校友会(以下「本会」という。)と称する。

### (目的)

#### 第2条

本会は第5条に定める会員および第6条に定める団体の親睦を深め相互に協力・協働し、第4条に定める事業をおこなうことを目的とする。

### (設置)

#### 第3条

本会を立正大学品川キャンパス内に置く。

### (事業)

#### 第4条

本会は第2条に定める目的を達成するため以下の事業を行う。  
(1) 本学ならびに学園の発展と振興の賛助に関すること  
(2) 会員相互の親睦および校友の集い開催に関すること  
(3) 在校生の支援に関すること  
(4) 会員および構成団体との連携・協働ならびに相互協力に関すること  
(5) 構成団体の支援および助成金交付に関すること  
(6) 会報発行および校友会ホームページによる広報に関すること  
(7) その他本会の目的達成のための必要な事項

## 第2章 会員

### (会員)

#### 第5条

本会の会員は以下のとおりとする。  
(1) 本学学部および大学院在籍生、ならびに在学する学生の父母  
(2) 本学学部卒業生および大学院修了生  
(3) 立正大学短期大学部・保育専門学校卒業生  
(4) 本学の現任教職員  
(5) 本学または立正大学短期大学部・保育専門学校に在籍した者で、第16条に定める立正大学校友会委員会(以下「校友会委員会」という。)で承認された者  
(6) その他、校友会委員会で承認された者

### (構成団体)

#### 第6条

本会の構成団体は下記のとおりとする。  
(1) 立正大学同窓 (2) 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会  
(3) 立正大学郵政会 (4) 立正大学構会  
(5) その他、前条に定める会員が組織し校友会委員会で承認された団体

### (会員資格の喪失)

#### 第7条

会員は以下に定めるところによりその資格を失う。  
(1) 退学 (2) 死亡 (3) 脱会 (4) 除名 (5) その他

### (会費)

#### 第8条

会員は別に定めるところにより所定の会費を納入するものとする。

### (会員個人情報の保護および管理)

#### 第9条

本会は法および立正大学情報セキュリティポリシーならびに立正大学個人情報保護規程にしたがって第5条に定める会員の個人情報と会員データベースを適切に管理運用する。  
2. 本会の会員情報と会員データベースは立正大学校友会委員会および会員データベースとして校友会委員会のもとで校友会課が所管する。  
3. 本会の会員情報は第4条に定める本会の事業および第6条に定める団体の活動以外には使用してはならない。

### (会員情報の変更届)

#### 第10条

会員は氏名・現住所および職業等に変更が生じた場合は届け出るものとする。

### (顕彰および褒賞)

#### 第11条

本会は、本会のために特に功績のあった会員および団体を顕彰し、その名誉・信用・目的を損なった場合はこれを懲戒する。  
2. 顕彰および懲戒は校友会で行う。

## 第3章 役員

### (役員)

#### 第12条

本会に以下の役員を置く。  
(1) 会長 1名(学長) (2) 副会長 1名(副学長より1名)  
(3) 顧問 1名(学園理事長) (4) 監事 1名(学園監事より1名)

### (名誉会長)

#### 第13条

本会に名誉会長を置く。  
2. 名誉会長は会長経験者とし校友会委員会において選出する。

### (役員職務)

#### 第14条

第12条に定める役員の職務は次のとおりとする。  
(1) 会長は本会を代表し会務を統括する  
(2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会務を代行する  
(3) 顧問は会長の諮問事項および本会の運営について意見を述べることができる  
(4) 監事は本会の事業を監査する

### (役員任期)

#### 第15条

第12条に定める役員の任期は1期3年として再任を妨げない。  
2. 役員が任期途中で退任した場合、後任役員の任期は前任者の残任期間とする。

### (会議)

#### 第16条

本会に校友会委員会を置き本会に関する事項を審議する。  
2. 校友会委員会については、別に定めるところによる。

## 第4章 事務局

### (事務局)

#### 第17条

本会の事務局は校友会課が所管する。

## 第5章 会計

### (経費および監査)

#### 第18条

本会の経費は、会費、寄付金、これらから生じる果実、およびその他の収入をもって支弁する。  
2. 本会の収支決算は校友会委員会で、必要に応じて学園の監査法人の監査を受けるものとする。  
3. 本会から助成金の交付を受ける構成団体は、事業計画書、収支予算書、事業報告書、収支決算書等必要な事項について、定められた期日までに校友会委員会に報告するものとする。

4. 本会の経理は校友会課が所管する。

### (会計年度)

#### 第19条

本会の会計年度は4月1日から翌3月31日とする。

## 第6章 会則の改廃

### (改廃)

#### 第20条

本会の会則の改廃は校友会委員会において出席者の過半数以上の議決により決定する。

## 第7章 雑則

### (雑則)

#### 第21条

第12条各号に定める役員は無給とする。

### 附則

平成21年4月1日制定、平成21年4月1日施行  
平成23年4月20日改正、平成23年4月1日施行  
平成24年11月21日改正、平成25年4月1日施行  
平成25年11月20日改正、平成26年4月1日施行

# 立正大学校友会委員会細則

## 第1章 総則

### (名称)

#### 第1条

本細則は、立正大学校友会会則(以下「会則」という。)第16条の定めにしたがって立正大学校友会委員会(以下「本委員会」という。)について定める。

### (委員会の任務)

#### 第2条

本委員会は委員長の諮問事項、立正大学校友会会則に定める事項、立正大学校友会の運営に必要な事項、ならびに構成団体の運営と支援協力等について審議する。

### (設置)

#### 第3条

本委員会を立正大学品川キャンパスに置く。

## 第2章 委員会の構成

### (委員)

#### 第4条

本委員会は以下の委員をもって構成する。  
(1) 委員長 1名(校友会会長)  
(2) 副委員長 3名(校友会副会長・同窓会長・構会会長)  
(3) 顧問 1名(校友会顧問)  
(4) 監事 1名(校友会監事)  
(5) 委員  
ア 大学事務局長 1名  
イ 校友会課長 1名  
ウ 立正大学同窓会選出委員 2名  
エ 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会選出委員 1名

### (会長)

オ 立正大学郵政会選出委員 1名(会長)  
カ 立正大学構会選出委員 2名

### (オブザーバー)

#### 第5条

委員長は必要に応じて委員以外の者の本委員会への出席を許可し、その意見を聴取することができる。

### (委員任期)

#### 第6条

第4条に定める委員の任期は1期3年とし再任を妨げない。  
2. 委員が任期途中で退任した場合、後任委員の任期は前任者の残任期間とする。

### (委員職務)

#### 第7条

第4条に定める委員の職務は次のとおりとする。  
(1) 委員長は本委員会を代表し、委員会を招集してその議長となる  
(2) 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるときはその職務を代行する  
(3) 顧問は委員長の諮問事項および本委員会の運営について助言し意見を述べることができる  
(4) 監事は本委員会の事業を監査する  
(5) 第4条第5項ウからカに定める委員はその選出団体を代表し、委員長の諮問事項について意見を述べ本委員会の運営にあたる。  
(6) 第4条第5項アからイに定める委員はその職務において委員長の諮問事項について意見を述べ本委員会の運営にあたる。

### (委員会の開催・成立・議決)

#### 第8条

本委員会は委員長が招集し原則として年3回開催する。  
2. 委員長が必要と認めるとき、または委員の3分の2以上の要請があるときは委員長は本委員会を開催する。  
3. 本委員会は委任状を含め委員の過半数の出席により成立し、出席委員の過半数により議決する。

## 第3章 細則の改廃

### (改廃)

#### 第9条

本委員会の細則の改廃は委員長の発議により出席委員の過半数以上の議決による。

## 第4章 委員会の事務

### (事務局)

#### 第10条

本委員会の事務局は校友会課が所管する。

## 第5章 雑則

### (雑則)

#### 第11条

第4条に定める委員は無給とする。  
2. 第4条第5項ウからカに定める委員の旅費交通費、宿泊費は学園旅費規程を準用して当該団体が支弁する。ただし、日当・鉄道グリーン料金および航空機特別席料金はこれを支給しない。

### 附則

平成21年4月1日制定、平成21年4月1日施行  
平成23年4月20日改正、平成23年4月1日施行  
平成24年11月21日改正、平成25年4月1日施行  
平成24年12月21日改正、平成25年4月1日施行  
平成25年11月20日改正、平成26年4月1日施行

# 立正大学生涯メール始めました

立正大学では、平成 27 年 4 月より立正大学の在学学生、卒業・修了された方に生涯利用できるメールアドレス【例：学籍番号@rissho-univ.jp】を提供しています。

メールシステムとしてマイクロソフト社の Office 365 を使用しており、Web サイトを利用してご自宅のパソコンやスマートフォンでメールの送受信が安心・安全に行なえます。

このアドレスには、立正大学校友会発信のメールマガジンやイベント情報、立正大学のニュースなどの情報をお送りします。

## 立正大学生涯メール利用方法

### ① メールアドレスの取得

URL : [学籍番号@rissho-univ.jp](mailto:学籍番号@rissho-univ.jp)

#### 【平成 26 年度以降卒業生・修了生】

⇒ 利用申請は不要ですが、在学中に利用していたパスワードを変更する必要があります。

#### 【平成 25 年度以前の卒業生・修了生】

- ⇒ ・ 利用をご希望の方は、新規利用申請が必要です。
- ・ 立正大学生涯メールサービス利用規約をご一読いただきご承認のうえ、右記の要領でお申込下さい。

### ② 利用開始前のパスワード変更

URL : <https://pass.ris.ac.jp/iumus/>

上記のパスワード変更ページにアクセスし、パスワード変更を行なってください。変更後、3~5 時間程度で利用できるようになります。

- ・ メールアドレスは、平成 27 年 4 月 3 日より利用可能
- ・ 利用開始に際し、在学中に利用していたパスワードの変更が必要

### ③ メール利用開始 (Web サイト (Office365))

URL : <https://outlook.office365.com/owa/>



## 立正大学生涯メール利用申込の流れ

### 【平成 25 年度以前の卒業生、修了生】

立正大学生涯メールを利用ご希望の方は、立正大学生涯メールサービス利用規約・プライバシーポリシーをご一読いただき、ご承認のうえ、下記の要領でお申込下さい。

#### <STEP 1> 必要書類を用意

- ① 所定の利用申込用紙に必要事項を記入してください。利用申請書は立正大学校友会ホームページよりダウンロード (PDF ファイルまたは EXCEL ファイル) できます。
- ② 有効期限内の本人確認書類を用意してください。運転免許証、パスポート、その他公的証明書類いずれかのコピー

#### <STEP 2> 申込み

利用申込書と本人確認書類を学長室校友課宛メールまたは FAX で送信するか郵送してください。

#### 【返信・お問合せ先】

〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

立正大学 学長室 校友課宛

T E L : 03-3493-6673

F A X : 03-3493-9068

E-mail : alu@ris.ac.jp

#### <STEP 3> 登録

申込用紙に記入いただいた住所にメールアドレスと仮パスワードを郵送いたします。

#### <STEP 4> 利用開始

パスワード変更ページにて仮パスワードを入力しログイン後、任意のパスワードを設定しご利用を開始して下さい。

## 立正大学生涯メールサービス利用規約(案)

制定 平成27年4月1日

### (目的)

#### 第1条

立正大学(以下「本学」)が提供する本学の在学学生・卒業生(以下「卒業生」)向けの生涯メールサービス(以下「本サービス」)は、長期にわたって利用可能なメールアドレスを発行することにより、本学からの各種情報発信、本学と卒業生等との情報交換、ならびに卒業生等相互の交流の機会を提供しようとするものである。

### (利用者)

#### 第2条

本サービスを利用することができる者は、原則として「立正大学卒業生生涯メールサービス利用規約」(以下「本規約」)の制定後に本学の正規の課程を卒業又は修了した者とする。

### (利用者の同一性の確認)

#### 第3条

利用者の同一性についてはユーザID及びパスワードをもって確認する。利用者は自らのユーザID及びパスワードを適正に管理するものとし、本学はそれらが第三者によって悪用された場合に生じる不利益、損害については一切責任を負わないものとする。

### (利用者の責任)

#### 第4条

本サービスでは原則として利用者同士の通信及び活動に関与しない。万一、利用者間において紛争等が生じた場合は、当事者間で解決するものとし、本学は一切の責任を負わないものとする。

2. 利用者は、本サービス利用における自身の行為について法的な責任を負い、利用者が本サービスにおいて通信する内容については、利用者自身の責任において適法性等を判断することとする。

### (禁止事項)

#### 第5条

利用者が本サービスを利用するにあたっては、次の行為を禁止する。

- (1) 法令に違反する行為、ならびに法令違反に結びつく行為
- (2) 営利目的、宗教活動又は政治活動等のために利用する行為
- (3) 誹謗、中傷、その他公序良俗に反する目的のために利用する行為
- (4) 他人の財産権、プライバシーその他の権利を侵害する等の行為
- (5) マルチ商法、ネズミ講及びそれに類する勧誘を行う行為
- (6) 本サービスに支障をきたすおそれのある行為及び本学が不適当と判断した行為

### (利用の停止)

#### 第6条

次の各号に当たる場合、本学は当該利用者の登録情報の変更、抹消等の然るべき処置を取ることができるものとする。

- (1) 利用者本人、もしくはその正当な代理人から申し出があった場合
- (2) 引き続き1年間、本サービスにログインしなかった場合
- (3) 前条各号に掲げる行為があった場合

### (利用料金)

#### 第7条

本サービスの利用は無料とする。ただし、利用者が契約しているプロバイダーの接続料、電話料金、携帯電話の通信料等は利用者の負担となる。

### (サービスの中断・終了)

#### 第8条

本学は、本サービスをいつでも任意の理由で中断あるいは終了することができるものとする。

2. 前項の規定によりサービスを中断あるいは終了する場合には、本学は、利用者を含むいかなる者に対しても、サービスの中断あるいは終了に伴い生じる損害、損失その他の費用の賠償又は補償を免れるものとする。

### (免責事項)

#### 第9条

本サービス使用に伴って発生するいかなる損害に対しても、本学は損害賠償等の責任を一切負わないものとする。

### (規約の適用)

#### 第10条

利用者が本サービスを利用したときは、本規約の内容ならびに本サービスのプラットフォームであるMicrosoft社のOffice365サービス

の利用規約を承諾したものとみなす。また、本規約及びMicrosoft社利用規約が変更されたときも、同様とする。

### (その他)

#### 第11条

本サービスに関する問い合わせは、本サービスのWebサイト上に表示する問い合わせ方法により行うものとする。

### (規約の改廃)

#### 第12条

この規約の改廃については、校友委員会の議を経るものとする。

### (雑則)

#### 第13条

本規約に定めのない事項については、校友委員会において決定する。

### 附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## プライバシーポリシー

制定 平成17年4月

### 1. 個人情報の利用目的

利用者から提供いただいた個人情報について、当該利用者からの本学へのご要望・お問い合わせ等への対応等、各種資料等の発送、その他Webサイト上に記載された目的にのみ利用致します。予め同意をいただかない限り、個人情報を、上記目的以外に利用することはありません。

### 2. 第三者への提供

公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき、本人の生命、身体又は財産の保護のために必要である場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき、

1. 法令に基づく場合。
2. 人の生命、身体又は財産の保護のために必要である場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
3. 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
4. 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行する事に対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

また、個人情報をより適正に取り扱うために個人情報の保護に関する法律を始めとする各種法令の遵守、第三者からの漏洩や再提供の防止対策など安全管理対策については万全を期すことといたします。

### 3. 個人情報の管理

本学は、個人情報の漏洩及び流出を防止するため適切な措置を講じます。具体的には管理者を置いて管理体制を構築し、コンピューター、ネットワーク管理の強化、不正アクセス防止などに努めます。

また、個人データの安全管理を徹底するために教職員への適切な教育、監督を行います。

### 4. 個人情報の開示等

本学は、利用者本人からの個人情報の開示・変更・利用停止等(以下「開示等」といいます)の申し出に、以下の通り対応します。

1. 開示等の受付・回答方法  
開示等を希望の場合は、先ずお電話にてお問い合わせ下さい。  
立正大学学長室政策広報課 03-3492-5250
2. 開示等のお申し出に関して取得した個人情報の「利用目的」開示等の申し出にともない取得した個人情報は、開示等に必要範囲のみで取り扱うものとします。提出いただいた書類は、本学からの回答後、規程に基づき保存し、その後廃棄いたします。
3. 個人情報を開示できない場合  
次に定める場合には、個人情報の開示等のお申し出にはお応えいたしかねます。
  - ・利用者本人であることを確認できない場合(電話・E-mail等による問い合わせを含む)
  - ・利用者又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合
  - ・本学の大学業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
  - ・他の法令に違反することとなる場合
  - ・公序良俗違反が明らかであり、社会的妥当性に著しく反する場合

### 5. 個人情報に関するお問い合わせ先

立正大学学長室政策広報課 03-3492-5250

# ◆ 卒業生向け Office365 操作手順書 ◆

## 【 利用条件 】

### ◆ パスワード変更

Office365 にログインする前に、必ずパスワード変更を実施する必要があります。

### ◆ 推奨ブラウザ

推奨されているブラウザの対象バージョンは以下の通りです。

- Internet Explorer 9 以上
- Firefox 最新バージョン  
または 1 つ前のバージョン
- Chrome 最新バージョン または  
1 つ前のバージョン
- Safari 6 以降

※ Microsoft 社の仕様変更により、予告なく変更となる場合があります。

## 【 ① パスワード変更方法 】

- (1) Web ブラウザを起動し、アドレスバーにパスワード変更ページ URL <https://pass.ris.ac.jp/iumus/> を入力します。

- (2) 「UnifiDone」というログイン画面が表示されますので、お知らせした ID とパスワードを入力しログインします。



- (3) 利用者操作画面より、パスワード変更を行います。



## 【 ② サインイン方法 】

- (1) Web ブラウザを起動し、アドレスバーにサインイン URL を入力します。

**URL : <https://outlook.office365.com/owa/>**

- (2) ユーザー名とパスワードを入力して、サインインします。

**ユーザー名 : [学籍番号@rissho-univ.jp](mailto:学籍番号@rissho-univ.jp)**

※初回サインイン時は、言語に「日本語(日本)」を、タイムゾーンに「大阪、札幌、東京」を選択します。



## 【 ③ サインアウト方法 】

- (1) 画面右上の人型アイコンをクリックし、【サインアウト】をクリックします。

## 【 ④ メール受信方法 】

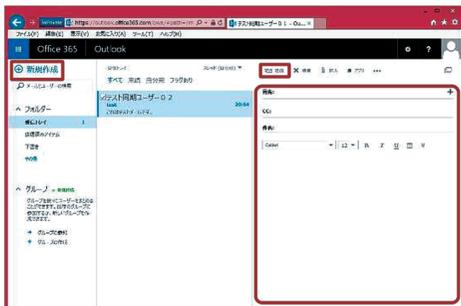
- (1) メールが届くと、画面右上に、新着メールアイコンが表示されます。また、未読メールは太字で表示されます。

- (2) 表示したいメールをクリックすると閲覧ウィンドウにメール内容が表示されます。



## 【⑤ メール送信方法】

- (1) 【新規作成】をクリックします。
- (2) 【宛先】、【件名】、【本文】を入力して【送信】をクリックすると、作成したメッセージが送信されます。



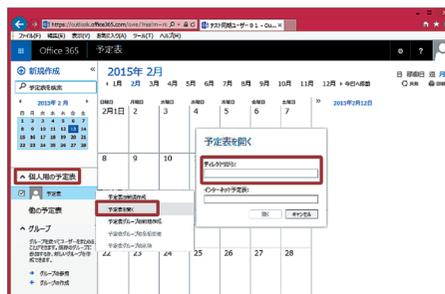
## 【⑥ メール返信方法】

- (1) 返信したいメールを選択します。
- (2) ツールバーより【返信】もしくは【全員に返信】マークをクリックします。
- (3) メッセージを作成し、【送信】をクリックします。



## 【⑦ 予定表登録方法】

- (1) 左上のアイコンをクリックし、【予定表】をクリックします。
- (2) 【個人用の予定表】の上で右クリックし、【予定表を開く】をクリックします。
- (3) 【ディレクトリから】テキストボックスに登録する予定表のメールアドレス ([a-cal-alumni@rissho-univ.jp](mailto:a-cal-alumni@rissho-univ.jp)) を入力し、【開く】をクリックします。



## 【⑧ 予定表について】

- (1) 下図の青い予定表が自分の予定表で、緑の予定表が追加した予定表です。

※緑の予定表の予定を参照することはできますが、編集することはできません。

- (2) 大学の予定表を追加する場合は、「予定表登録方法」のメールアドレスを ([a-cal-univ@rissho-univ.jp](mailto:a-cal-univ@rissho-univ.jp)) に置き換えて再度実施します。



## 【⑨ ヘルプの操作方法】

- (1) 右上の【?】-【ヘルプ】をクリックします。
- (2) 【この記事の内容】の下に配置されているリンクをクリックするか、または検索ボックスにキーワードを入力し、虫眼鏡のアイコンをクリックします。



## 同窓会支部総会開催報告

### 【東京多摩支部】

- ◆ 支部長：  
尾崎 文英氏  
(S33文国卒)
- ◆ 11月23日(祝)
- ◆ 八王子市 ホテル  
ザ・ビー八王子
- ◆ 「放射性廃棄物の影響とその課題」立正大学名誉教授  
田口 正己氏 ◆ 参加者：27名



### 【宮崎県支部】

- ◆ 支部長：  
長友 泰範氏  
(S44文地卒)
- ◆ 11月29日(土)
- ◆ 宮崎市 ニューウ  
エルシティ宮崎
- ◆ 「国際協力の現場から～途上国の現状と人々の生活～」  
小野 睦一氏 ◆ 参加者：14名



### 【愛媛県支部】

- ◆ 支部長：  
中臣 泰斎氏  
(S50仏宗卒)
- ◆ 12月7日(日)
- ◆ 松山市「白魂」(卒  
業生の経営するお店)
- ◆ 平成26年度総会 ◆ 参加者：20名



### 【香川県支部】

- ◆ 支部長：  
大井 満明氏  
(S44文国卒)
- ◆ 1月24日(土)
- ◆ 高松市「神童ろ」  
(わらじろ)
- ◆ 平成26年度総会・四国4県合同同窓会開催について
- ◆ 参加者：9名(同窓会本部より加茂 佳史副会長出席)



## 新年会開催報告

### 【東京都支部・経済学部同窓会合同】

- ◆ 支部長：手嶋 真人氏(S36経済卒)
- ◆ 経済学部同窓会長：三澤 金一郎氏(S38経済卒)
- ◆ 1月24日(土)に千代田区にあるアルカディア市ヶ谷  
(私学会館)で、平成27年度立正大学同窓会東京都  
支部・経済学部同窓会合同新年会を開催しました。  
当日は、大学より高村 弘毅名誉教授、芦田 浩司経済

学部教授、下垣キャリアサポートセンター部長、深澤  
経済学部事務長、栗田学長室校友課長、坂田野球部監  
督、宮路経済学部ゼミ協副会長にもご出席を賜り、ま  
た、神奈川県支部、千葉県支部、埼玉県支部の方々  
にもご参加頂くとともに、多くの卒業生の出席もあり、  
和やかな雰囲気の中交流を行う事ができました。

また、春の叙勲に  
おいて高村弘毅名  
誉教授が瑞宝中級  
章を受章されたこ  
とをお祝いして東  
京都支部と経済学  
部同窓会より、花  
束を贈呈すると  
も、奥様にもご自  
宅へお花をお届け  
しました。



東京都支部・経済学部同窓会より  
叙勲のお祝いとして花束贈呈



2015.01.24

集合写真

### 【青森県支部】

- ◆ 支部長：  
金田一 耕作氏  
(S55短大社会卒)
- ◆ 2月7日(土)に八  
戸市にある八戸  
パークホテルにて  
青森県支部の新年会を開催しました。当日は、9名  
の参加者となり、長い間会っていなかった東京在住  
の同窓生も加わり、和気藹々とした雰囲気の中交流  
を深めました。



## 同窓会支部活動報告

### 【香川県支部】

- ◆ 支部長：大井 満明氏(S44文国卒)
- ◆ 香川県支部同窓会は、香川県で合宿をしている立正大学  
硬式野球部の部員を激励する為に、2月27日(金)  
に行われた試合を応援観戦し、差し入れ等を行いました。

# 平成27年度 立正大学同窓会定期総会・懇親会・ オプションツアー・立正大学校友会主催講演会

- ◆ 平成27年6月27日(土)～6月28日(日)
- ◆ 会 場：ホテルグランテラス富山(富山県富山市桜橋通り2-28 ☎076-431-2211)
- ◆ 主 催：立正大学校友会・立正大学同窓会 ◆ 協 力：立正大学同窓会富山県支部
- ◆ 申 込：同封の「平成27年度立正大学同窓会定期総会」出欠ハガキをご利用下さい。

## 6月27日(土)

- ◆ 第1部：立正大学校友会主催講演会  
「立山の自然の魅力～雪の壁から氷河まで～」  
講師：富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長  
飯田 肇氏

- ◆ 13:30～14:30 (受付 13:00 より)
- ◆ 会場：4階 瑞雲の間

### ◆ 第2部：立正大学同窓会定期総会

- ◆ 15:00～17:00 ◆ 会場：4階 瑞雲の間
- ◆ 来賓挨拶 ◆ 平成26年度事業報告・決算報告
- ◆ 平成27年度事業計画・予算について ◆ その他

### ◆ 第3部：立正大学同窓会定期総会懇親会

- ◆ 17:30～19:30 ◆ 会場：4階 祥雲の間
- ◆ 越中おわら節が披露されます。



## 〈講師プロフィール〉



### 飯田 肇(いいた はじめ)氏

茨城県生まれ、名古屋大学大学院理学研究科満了、黒部市吉田科学館主任学芸員を経て、富山県立山カルデラ砂防博物館に勤務、現在に至る。

### 【主な活動】

立山や立山カルデラの自然を中心テーマとして博物館活動を行う。立山の雪氷を継続して調査研究し、2012年に日本初の現存する氷河を確認する。1982年以来ヒマラヤ氷河学術調査に7回参加。1984年カンチェンジュンガ登山隊、1992年ナムチャバルワ登山隊に参加。

### 【主な役職】

(公社)日本雪氷学会北信越支部理事・副支部長、金沢大学非常勤、(独行)国立登山研修所講師、(公社)日本山岳ガイド協会理事・特別委員会委員・環境省自然公園指導員、(公財)黒部市吉田科学館理事。

## 6月28日(日)

### ◆ オプションツアー

「立山・黒部アルペンルートのうち立山室堂周辺散策」

- ◆ 参加費：3,000円 ◆ 募集人数：45名
- ◆ ホテルから貸切バスにて標高2,450mの室堂まで登り、「みくりが池」、「雄大な立山連峰」を間近に見ながら周辺の散策をします。

\* 気温が平地より13℃程低いので、防寒具が必要です。また足元が悪い場所がありますので運動靴等の歩きやすい靴でご参加ください。

\* 振り込み方法につきましては、参加者の方へ別途ご連絡いたします。

絡いたします。

\* 募集人数に達しない場合には、中止となる場合がございますので予めご承知おきください。中止となった場合には学長室校友課よりご連絡いたします。

### 《宿泊に関するご案内》

ホテルグランテラス富山のみこちらでご案内をしております。ご希望の方は学長室校友課(03-3493-6673)までご連絡ください。なお、部屋数に限りがございますので、先着順とさせていただきます。

◆ 金額：シングルルーム 1泊朝食付 5,700円(80室)

## 平成26年度 課外活動表彰

### ◆ 頑張った在学生へ大学同窓会より祝賀を贈呈

3月10日に品川キャンパスで大学主催による平成26年度課外活動顕彰式が行われ、下記の皆様が顕彰されました。顕彰された皆様へ大学同窓会より祝賀を贈呈いたしました。

- ◆ 【団体部門】 ◆ 独立団体グリークラブ
- ◆ 独立団体吹奏楽部 ◆ 体育会射撃部

### 【個人部門】

- ◆ 笹山康太さん(水泳部) ◆ 大谷健太さん(柔道部)
- ◆ 大島瑞紀さん(籠球部) ◆ 野原友宏さん(剣道部)
- ◆ 秦慎之介さん(射撃部) ◆ 千葉勇作さん(柔道部)
- ◆ 石塚寿彦さん(剣道部) ◆ 内田ちふゆさん(射撃部)
- ◆ 安藤寛典さん(水泳部) ◆ 新島尚紀さん(柔道部)
- ◆ 永田雅士さん(柔道部)

平成27年度

## 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会定期総会のご案内



### 立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会会長 砂川 米子

立正大学短期大学部・保育専門学校同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本同窓会は立正大学校友会のもとに、校友会報・学園新聞などを同窓生にお届けすることができております。

昨年は同窓生の絆を深めるために「懐かしい友と語り明かそう同窓会プラン」として1泊2日で身延山久遠寺へ同窓会旅行を計画しましたが、参加者が少なく中止とさせていただきます。今後同窓会旅行を計画しますが、参加者が少なく中止とさせていただきます。

さて、平成27年度定期総会は、熊谷キャンパスにて6月28日(日)に開催いたします。今回の定期総会で短期大学部・保育専門学校独自の総会は最後になりますので、同窓生の皆様、ご友人をお誘いの上、是非ご参加をお願いします。今後は校友会の組織の中で大学の様子等を連絡させていただくこととなりますので、ご了承を宜しくお

願い申し上げます。

結びに同窓生の皆様方の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

#### ● 同窓会・定期総会・講演会・懇親会 開催案内

◆ 6月28日(日) 9:30~10:00受付

【定期総会】10:00~11:00

【講演会】11:00~12:00

◆ 場所：学生食堂「ステラ」

◆ 講師：長野県 障がい者福祉センター所長  
関口一道氏(本学OB)

【懇親会】12:00~13:30

◆ 場所：学生食堂「ステラ」

※お申込みは、同封の「立正大学短期大学部・保育専門学校同窓会定期総会」出欠ハガキをご利用下さい。

## 「極める」「育てる」「記録する」



### 立正大学郵政会副会長 星 紀之

立正大学が幕を開けた、明治5年から、今年で143年を迎えることとなります。

そして、大学と郵政省の合意に基づいて昭和34年に設置された郵政会は、今年で57年を迎えることとなりました。

それぞれに節目になる平成24年、平成21年に140周年、50周年の記念式典が行われたことは、記憶に新しいこととして、私どもに強い印象を与えてくれました。今後また、節目の年に、それぞれ記念行事が行われることと予測をされますが、平成21年に校友会が発足と同時に、郵政会もその傘下に位置づけられましたが、学生数も大幅に減少し、郵政会の活動もままならない状況の中、学校側、そして関係者のご努力により、平成25年から活動を再開し、今年で3年目を迎えることとなりました。

役員会、支部代表者会議、総会を通して事業計画、予算等が審議され、郵政事業の動向を見守り、校友会と連携を日々深めることとし活動しているところです。

昨年10月に役員会を開催し、会員相互の絆と結束を図るため、そして本格的な少子化時代到来における学校経営の課題と、これらの状況に対応する郵政会の役割について討議され郵政会会員それぞれに情報の共有化、大学側各種情報の提供と郵政会各支部の活動状況を紹介する会報「あらたま」の発行が提案され今年はじめに各支部を

通じて会員の皆様にお届けしたところです。

今回の会報を通して明らかになったことに、各支部共通事項として、同窓生の把握に向けてのご苦労があることと、本部、支部、同窓生がいかにして、心をひとつにして、力を合わせて校友会を支えて、子弟を立正大学入学への勸奨に取り組み、支部強化を図っていくかということでした。

さきほども触れましたが、あと3年で、郵政会、創立60周年の節目を迎えることとなります。今後、この3年を郵政会として、どう結束して進めていくかということが、今年度からの活動の課題となります。これからの3年という年月行動を「極め」同窓生会員を「育て」その過程を「記録する」ことが、安泰とした郵政会とその存在力を示すこととなります。

「極める」、「育てる」、「記録する」を合言葉として、今年度からスタートさせたいと願っております。

6月6日に、品川キャンパスにおいて、役員会、支部代表者会議、総会の開催を予定しています。この中で、3年間を通した取り組みについて、各支部内会員同窓生の把握と、活動計画について、協議することとしております。

これまでの郵政会の活動を振り返り、3年計画を展開し、「極める」、「育てる」、「記録する」の合言葉を支えとして、そして、少子化に伴う学校経営と郵政会の役割について、認識し、会報「あらたま」で絆を繋ぎ活動を続けてまいります。

## ご挨拶



校友会会員の皆様には、平素より立正大学橘会にご理解並びご支援を頂き誠にありがとうございます。

橘会は、学生が有意義な大学生活を送れるように保護者が協力し合い支援する組織として運営しています。

その一環として、保護者の皆様と立正大学の結び役として、毎年全国各地で橘会保護者懇談会を開催しております。平成26年度は全国12会場で開催し、各学部長による「立正大学の現況報告」やキャリアサポートセンター担当者による「父母のための就職講座」、大学教職員による「保護者個人面接」を行っております。

この様に全国各地で橘会保護者懇談会を開催しているのは、保護者の元から通学している学生より親元を離れて通学している学生が多く、学生生活を把握出来ない保護者の皆様に、より身近に大学を知って頂き、学生生活の現状を理解して頂く為に開催しております。皆様の中には大学生だから保護者が出なくても良いのではないのかと思われる保護者もおられますが、大学には高校時代までの様な担任の先生はおりません。講義の選択や出欠席など、全て自分の責任において決めていかなければなりません。例えば、事実学生の中にはアルバイト等に夢中で講義の欠席が多くなり単位を取得出来ずに進級や卒業が出来なくなる事もあります。大学生は大人のものであってもまだ子供です。親が気付いたときには手遅れになることもあります。

また、保護者の皆様のところには年2回大学から成績表が送付されておりますが、成績表を見ても中々理解し

### 立正大学橘会長 出口 幸祥

にくいこともあります。その為、学生の大学生活をもっと保護者の皆様にご理解して頂く手段の一つとして個人面接等も開催しております。

近年まだ一部ですが、橘会保護者懇談会開催の時に、立正大学OBによる同窓会と合同で開催し、同窓生による地元就職のアドバイスを頂けるようにもなりはじめました。

開催地には必ず橘会役員が同席しております。役員といっても皆様と同じ学生の保護者です。各会場でご参加頂いている保護者の皆様と個人面接の待ち時間に、お茶を飲みながら話をしておりますと、保護者同士の故に気さくな会話が出来ます。時には保護者の方が悩みや疑問を話されたときに、大学教職員や参加して下さっている保護者の皆様が色々なアドバイスをして下さいすることも多々あります。

この様に全国各地で橘会保護者懇談会を開催しておりますが、残念な事もあります。それは参加者数の低さです。無論開催地や日時は保護者の皆様の都合に合わせて開催することは出来ませんので、当日都合が付かない保護者の方々も多い事と理解しておりますが、折角の機会ですので沢山の保護者の皆様にご参加頂き大学の今、学生の今をご理解して頂きたいと存じます。

この現代は不安定な時代です。そんな時代だからこそ、保護者が協力し合い学生をより良き社会に巣立てるよう、橘会も支援し続けたいと存じます。その為には保護者の皆様のご協力、ご支援が無ければ成り立ちません。是非とも保護者会員の皆様、学生が有意義な大学生活を送れる為にも橘会に積極的にご参加頂き、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年度

### 立正大学橘会奨励賞

第19回  
橘会  
奨励賞

受賞者一覧

橘会では学生を対象に、学術・文化・スポーツ・慈善活動・その他広範囲の分野において活躍・努力している個人・団体を表彰しています。

- ◆ 優秀賞（個人） 山田 千晶
- ◆ 努力賞（個人） 菅家 優介
- ◆ 選考委員会特別賞（団体）  
「立正大学BBS会」

### 就職成就祈願の御札を配布

橘会では学生支援の一環として、就職成就を願い3年生の学生へ御札を配付いたしました。



## 平成27年度 保護者懇談会開催日程（案）

平成27年度の保護者懇談会を下記の日程と会場で開催予定です。在学生のご父母と大学の先生方と直接お話しいただき、学生生活や就職等に関する情報収集の場としてご活用ください。

また同じ立正大学に在学する御子さんをお持ちのご父母の皆様との交流の場としてもご活用ください。

期 日	開催地	対象地域	会 場	住 所
5月31日 (日)	福岡市	福岡県・大分県・佐賀県・長崎県 熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県 山口県・島根県・鳥取県・岡山県 広島県・徳島県・香川県・愛媛県 高知県	TKP博多駅前 シティセンター	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-2-1 日本生命博多駅前ビル8階 ☎092-474-5145
6月14日 (日)	熊谷市	学部別全都道府県 法学部・社会福祉学部 地球環境科学部	立正大学 熊谷キャンパス	〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉1700 ☎048-536-6010 (問い合わせ先) ☎03-3493-6673
6月20日 (土)	仙台市	青森県・岩手県・秋田県 山形県・宮城県・福島県	メルパルク仙台	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-6-51 ☎022-792-8111
7月5日 (日)	大阪市	大阪府・広島県・岡山県・京都府 奈良県・滋賀県・和歌山県・三重県 岐阜県・島根県・鳥取県・福井県 富山県・兵庫県・徳島県・香川県 愛媛県・高知県	大阪第一ホテル	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-9-20 ☎06-6341-4411
8月29日 (土)	旭川市	北海道	旭川 グランドホテル	〒070-0036 北海道旭川市6条通9丁目 ☎0166-24-2111
9月6日 (日)	千葉市	千葉県・茨城県・東京都	ホテル ニューオータニ 幕張	〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-120-3 ☎043-297-7777
9月26日 (土)	長岡市	新潟県・群馬県・富山県 石川県・福井県・長野県	バストラル長岡	〒940-8550 新潟県長岡市今朝白 2-7-25 ☎0258-35-1305
10月4日 (日)	横浜市	神奈川県・静岡県・山梨県 長野県・東京都	コンベンション ルームAP 横浜駅西口	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 2-6-1 横浜APビル4階 ☎045-411-5109
10月11日 (日)	静岡市	静岡県・岐阜県・山梨県 愛知県・長野県	静岡グランドホテル 中島屋	〒420-0853 静岡県静岡市葵区紺屋町 3-10 ☎054-253-1151
11月8日 (日)	東京都	学部別全都道府県・仏教学部 文学部・経済学部・経営学部 法学部・心理学部	立正大学 品川キャンパス	〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 ☎03-3493-6673

## 卒業生の活動情報



帝釈天王像  
(松本 定祥作)

◆ 松本 定祥さん  
(平成 7 年仏教学部宗学科卒業)  
卒業生である仏師の松本定祥さんが、6月12日(金)より14日(日)の間、葛飾区の帝釈天題経寺鳳翔会館にて「仏像彫刻展示会」を開催致します。

- ◆ 会場：帝釈天題経寺鳳翔会館  
(東京都葛飾区柴又7-10)
- ◆ 期間：6月12日(金)～14日(日)
- ◆ 時間：10:30～16:00

### 【松本 定祥さん紹介】

昭和 47 年出生。幼少期、粘土で仏像を造る。  
平成 7 年 3 月 立正大学仏教学部宗学科卒業。  
平成 11 年 3 月 京都伝統工芸専門学校卒業(現大学校)。  
平成 11 年 京仏師・村上 湛雲師入門。平成 19 年 独立。

## BOOK & WORK 卒業生の書籍などの紹介



『下町 M&A  
中小企業の生き残り戦略』  
川原 慎一  
(昭和 49 年 経営学部経営学科卒業)

株式会社 平凡社  
定価 760 円+税  
お問合せ ☎ 03 (3230) 6572

### 【川原 慎一氏紹介】

1955 年東京生まれ。事業再生コンサルタント。  
(株) S.K.I ビジネスパートナーズ代表取締役。  
98 年、インターネットを利用した旅行関係の企画販売システムを開発して IT ベンチャーに進出するも、資金繰りの悪化から 2000 年に経営破綻。2 億円以上の債務を抱えながら自力で債務問題を解決。  
2002 年よりその経験を生かして事業再生コンサルタントとして活動。現在までに、飲食業・メーカー・理美容業・建設業・サービス業など数百社の再生相談に対応、全国で再生実務を行っている。著書に『先輩! お金の相談に乗ってください!』(東洋経済新報社)がある。

▶ S.K.I ビジネスパートナーズのホームページ  
<http://www.skibp.co.jp>

## INFORMATION

### 2015 年度校友会費 B (卒業生・現元教職員等会費) のご案内

昨年度は校友会費 B (3,000 円) に約 1,756 件・526 万 8 千円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込みくださいますようお願い申し上げます。



熊谷キャンパス  
アカデミックキューブ

### 立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスを 4 月より開始いたします。詳細につきましては、本号 6 頁の記事をご参照下さい。

### 校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

#### 変更届の内容

- ◆ 氏名 ◆ ご住所 ◆ 電話番号
- ◆ メールアドレス ◆ 勤務先または職業
- ◆ 校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛ラベルの番号)

#### お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課  
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16  
☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068  
Email: alu@ris.ac.jp

■ 専用用紙は立正大学校友会ホームページ  
(<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

#### お知らせください

- ◆ 卒業生の活動情報やクラブ・サークル OB/OG 会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

## 教職員訃報

【平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月】

地球環境科学部教授 須藤 英雄氏 (平成 26 年 11 月逝去)

名誉教授 小林 榮吾氏 (平成 26 年 12 月 29 日逝去)

謹んで哀悼の意を表します



**発行者**

立正大学校友会  
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

**発行人**

山崎 和海

**編集**

立正大学学長室校友課

**電話**

03-3493-6673

**URL**

<http://alumni.rissho.jp/>